

アタマ

アタマ

中村喜一郎 文学の擁護 (河出書房新社) 三九〇頁
村松 剛 文学と精神 (南北社) 三九〇頁
三九〇頁

こういふ風に二冊の工④セ一集を存らべら

れると両方の共通点を抽出して~~気~~気のさい

たことでも書~~いて~~みてたく存るが~~通~~通讀した結

果くこの二冊の本は一口に文学的工④セいと

いうもの~~の~~著者の~~思考~~や~~姿勢~~があるいは出

来~~あ~~あ~~か~~か~~た~~た~~作~~作~~品~~品~~その~~その~~もの~~もの~~の~~の~~成~~成~~果~~果~~を~~を~~と~~と~~に~~に~~か~~か~~な~~な~~り~~り~~の~~の

徑庭がある以上~~く~~

妙~~や~~は~~り~~月~~並~~並~~み~~み~~に~~に~~個~~個~~別~~別~~に~~に~~扱~~扱~~お~~お~~か~~か~~す~~す~~の~~の~~月~~月~~並~~並~~み~~み~~に~~に~~順~~順~~を~~を~~お~~お~~か~~か~~す~~す

文学の擁護~~レ~~に~~く~~ほくはふたつの意味で~~く~~

成熟~~と~~とい~~つ~~つて~~思~~思~~い~~い~~け~~け~~れ~~れ~~は~~は~~く~~く~~ひ~~ひ~~と~~との到達点を

は~~つ~~つさり認め~~た~~た~~ま~~ま~~す~~す~~く~~く批評家として中村氏

かこれほど氏の文学観を明快卒直に~~く~~レかも

アンチームに語~~つ~~つたこと~~は~~は~~な~~な~~い~~い~~こ~~こ~~こ~~こ~~に~~に~~は~~は~~く~~く

話題~~と~~と~~相~~相~~手~~手~~に~~に~~よ~~よ~~つ~~つて~~機~~機~~敏~~敏に表情と口調を~~機~~機~~敏~~敏

にかえることか~~で~~できる~~世~~世~~故~~故~~長~~長~~け~~けた話術家か~~い~~い

る~~く~~大岡昇平氏の~~花~~花~~影~~影~~に~~に~~寄~~寄~~せ~~せ~~ら~~ら~~れ~~れた~~詞~~詞

又を分析して~~く~~これは心理十説でもなければ~~く~~

風俗十説でもなく~~く~~およそ十説ではなく~~て~~